

令和 6 年度 自動車騒音常時監視調査結果

平塚市では、令和 6 年度に市内の幹線交通を担う道路 6 区間の沿道における騒音の状況を調査し、騒音に係る環境基準の達成状況について明らかにするため評価を行いました。

測定結果及び評価結果表

図中 番号	評価 年度	道 路 名 (調査単位区間番号)	測 定 地 点	騒音測定値 (L _{Aeq}) ※ ¹ (dB)		環境基準達成率(%) ※ ²		
				昼間	夜間	昼夜とも	昼間	夜間
1	R6	平塚伊勢原線 (44620)	立野町 40	62	54	100.0	100.0	100.0
2		平塚伊勢原線 (44630)	北豊田 712	68	63	100.0	100.0	100.0
3		平塚秦野線 (44810)	撫子原 3-28	68	63	97.7	100.0	97.7
4		平塚秦野線 (44820)	桜ヶ丘 3-43	62	58	100.0	100.0	100.0
5		大島明石線 (68610)	東中原 1 丁目 7-1	70	64	100.0	100.0	100.0
6		公所大磯線 (69210)	高村 192-16	63	57	99.6	99.8	99.6

※ 1 : 市内の幹線交通を担う道路 6 区間を選び、自動車騒音の測定を主要道路の 6 地点にて行いました。測定値は昼間、夜間それぞれの等価騒音レベル (L_{Aeq}) として表します。等価騒音レベル (L_{Aeq}) とは、騒音レベルが時間とともに変動している（音が大きくなったり小さくなったりする）とき、これと等しいエネルギーをもつ一定の騒音レベル（定常騒音）に直したらどの程度のレベルになるかを表したものです。

※ 2 : 自動車騒音の測定値をもとに、道路の端から 50m の地域に立地する住居ごとに騒音レベルを推計し、環境基準値を下回った戸数が全住居戸数の何%になるかを表したものです。なお、環境基準値はそれぞれの住居が立地する都市計画用途地域、道路の種類や車線数、道路からの距離によって決まります。

市内の幹線交通を担う道路の環境基準の達成状況（令和 6 年度）

